

議会だより

No. 132

令和8年5月1日発行
(2026年)

もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS



表紙の作品

第7回観光協会観光フォトグランプリより

題名「春風薫る」

撮影場所：鎌北湖

撮影者：小島 勝幸さん

コメント「春の桜や秋の紅葉が美しい鎌北湖ですが、明るい緑の若葉が輝く季節もステキです。」

2P

過去最大新年度予算可決！

4～5P

ココが聞きたい令和8年度事業

6～7P

3月議会ではこんなことが決まりました

8P

臨時会が開催 小学校統合へ

9～15P

一般質問12名が登壇

発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地

☎049-295-2112

バックナンバーはこちらです⇒



議会の声を動画で届けます!!

YouTube 配信はコチラから ⇒



○議会だよりは議員の自主編集により発行しています。

過去最大予算に賛否！ 120億3千万円 7対6で可決

毛呂山小・泉野小統合に伴う校舎改修設計を委託 統合整備へ動く

令和8年度主要事業

◆子育て支援

- ・チャイルドシート購入補助事業（上限1万円）
- ・5歳児健康診査の実施
- ・24時間365日医師に相談できるアプリの導入

◆教育関係

- ・小中学校入学準備補助事業（小学生2万円／中学生5万円）
- ・川角中学校プール授業を委託（室内プールへ）
- ・中学校修学旅行費補助事業（1人7万円）
- ・中学生海外留学事業
- ・毛呂山小学校大規模改修工事設計業務委託

◆公共工事

- ・旭台地区、岡本団地雨水対策工事
- ・第四団地雨水対策設計業務
- ・川角中学校南側交差点雨水対策調査業務
- ・角木日化団地入口の越生線第55号踏切拡幅工事
- ・川角駅学園口駅前広場等の整備事業

令和8年3月定例会は、3月2日から19日までの18日間の会期で開催されました。定例会に提案された案件は、条例の制定3件、条例の一部改正8件、補正予算5件、当初予算6件、財産の取得1件、町道の認定1件、人事1件、発委2件、発議1件、諮問1件、報告1件、合計30件が上程され慎重なる審議をいたしました。一般質問は12名の議員が登壇し活発な質疑が展開されました。



堀江 快治 議員
令和8年度予算は極めて重要な予算であるが、少子化に伴う人口減少は確実に進行していくため、概算金額で約12億5千万円という毛呂山小学校大規模改修工事設計業務委託料4千477万円については、将来の財政負担を考えると再度慎重に検討するべきと考える。そのため、万感の思いの中で反対する。

長瀬 衛 議員
毛呂山小の1棟の校舎改修工事に年間予算の1割に相当する12億もの巨費を投じることはブラックホール型自治体の本町の「身の丈」をはるかに超えている。町長や教育委員会が住民や議会との合意もなく強引に進めている。「信なくば立たず」であり、現状に照らし、町長に猛省を促すとともに苦林浄水場問題や創成舎のあり方を問う。

私はこう考える

反対

佐藤 秀樹 議員
今回の予算に含まれている大規模改修工事委託料は正に実施設計であり、次年度の工事費に直結するもので、12億5千万円以上の工事費が算出される可能性も否定できない。川角中学校区も控えている中、もう一度慎重に検討して頂き、早急に、適切な工事内容に対する設計業務委託料を提出して頂くことを望み反対致します。

岡野 勉 議員
本町の職員定数が8名欠員状態は遺憾だ。学校統廃合で毛呂山中学校区の先行実施は、川角中学校区との平等な教育環境整備面からも問題だ。町民、保護者、子どもたちとの丁寧な説明合意も無く反対だ。また「国保会社」への法定外繰り入れが0円は、国・県・自治体の公的支援の象徴が消えた。国民皆保険制度維持のためにも下支えすべきだ。

討論の詳細はこちら

あなたの生活に密着！ 特別会計予算

国民健康保険特別会計

36億9611万円

主な内容

被保険者数減少により、保険給付費・交付金は減少傾向。一方で1人当たり医療費は増加している状況。

Q

今後も国保財政は厳しくなるのか。

A

被保険者数の減少により総医療費は減少傾向だが、1人当たり医療費は増加しており、県全体で保険税率を統一しても今後も厳しい状況が見込まれる。

後期高齢者医療特別会計

7億1847万円

主な内容

保険料増加の要因として制度改定、所得増加が説明された。均等割・所得割ともに引き上げへ。

介護保険特別会計

33億9099万円

主な内容

介護予防サービスの内容や事業所数について質疑。住宅改修や、手すり設置等の利用が増加。

水道事業会計

10億8525万円

主な内容

水道事業では県水値上げと料金への影響を指摘。浄水場更新は約20億円と試算され、見直し検討や給水量減少などの課題について質疑された。

Q

県水の値上げは町の水道料金に影響するのか。

A

影響は避けられず、今後の料金への反映について検討が必要。

Q

浄水場更新に約20億円かかるのは妥当か。

A

実施設計の結果であり、負担が大きいため、県水活用など代替案も含めて再検討している。

Q

給水量が減っているが経営は大丈夫か。

A

人口減少により給水量は減少傾向であり、経営環境は厳しくなっている。



築55年経過し、老朽化が問題となっている苦林浄水場

農業集落排水事業会計

6029万円

主な内容

一般会計からの約3千万円の繰入が問題視された。利用戸数減少により、経営の持続性が課題。将来的には合併浄化槽、公共下水道接続などへの転換検討が必要。

Q

一般会計から多額の繰入が毎年必要になるのは問題では。

A

利用戸数減少により収入が少なく、構造的な課題がある。

後期高齢者医療特別会計

反対討論

岡野 勉 議員

3年間連続の保険料、引き上げの提案だ。今年度は年間保険料の上限を80万円から85万円の引き上げだ。高齢者の生活は高物価の中で限界にきている。国民年金月額4万円では、暮しは厳しく70歳、75歳と働き、高齢者の労働災害は最多傾向にある。安心な老後のため、高齢者医療制度に国・県の公的支援の拡充を訴える。

討論の詳細はこちら



討論 新年度予算、

千葉 三津子 議員

少子化対策・教育施策・健康づくりの施策など町の課題解決の予算が多数計上されている。乳児等入所対策事業等、更には小中学校入学準備補助事業など物価高騰の中で有難い事業だ。高齢者補聴器購入助成事業や町の防災・安全対策面でも旭台地区排水事業や岡本団地内水路高上げ事業など、地域住民に寄り添った町の姿勢が評価できる。

賛成

中村 奨平 議員

本来であれば築50年を迎えるまでに小学校は大規模改修を実施するはずが、行われていない。綺麗な学校に通えたはずの児童保護者は統廃合という痛みを負ってなお、今後高齢者にお金がかかるという理由で、老朽化により危険な箇所も多く指摘されながらも小学校は費用を掛けず最低限の改修だけで良いというのは無責任だ。



ずばりココが聞きたい!



予算決算常任委員会の主な質疑

本委員会は議長・監査委員を除く12名の議員で構成しています。
なお、小野浩議員は病気療養のため委員会を欠席しました。

※万円未満切り捨て

当初予算は本町における一年間の事業の計画を示す非常に重要な
町に役立つことに支出されるのかどうかを審議するものです。 予算審議は、広く客観的に、住民全体の立場に立つて、

予算決算常任委員会は3月10日から13日及び16日の計5日間にわたり開催されました。初日は現地調査を行い、2日目以降は終日、役場委員会室で集中審議を行いました。今回、委員会開会から閉会までの総時間は30時間を超え、新年度予算について、詳細な質疑、答弁が繰り広げられました。



委員会による現地調査

荒木おる 議員

小中学校入学準備補助事業
予算額 1,358万円



問 入学準備をする前に補助の必要があるのではないかと。
答 令和8年度は新規事業のため準備の時期に間に合わなかったが、今後検討する。
観 小学生のランドセルも近年高額になっている。リュック型ランドセルを導入している自治体もある。本町も導入を検討すべき。

堀江 快治 議員

放課後児童健全育成事業委託料
予算額 6,872万円



問 毛呂小と泉野小が統合された後の「泉野学童保育所」の活用方法を伺う。
答 今後鋭意検討していく。
観 少子化に伴う人口減少は、今後も加速していく。跡地の活用については、計画的且つ費用対効果の観点から町全体でしっかりと検討していく必要がある。

佐藤 秀樹 議員

毛呂山小学校大規模改修工事設計業務委託料
予算額 4,477万円



問 設計業務委託料イコール実施設計ではないのか。
答 事前に老朽化の状況調査をして、その後設計という仕様になっている。
問 事前に詳細な金額を出せる方法はないのか。
答 今回の大規模改修工事の設計業務委託というのは一連の流れでやらせて頂く。

長瀬 衛 議員

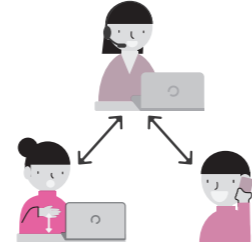
緊急通報システム委託料
予算額 170万円

町の高齢化率及び独居世帯数	
総人口	31,538人
総世帯数	16,334世帯
高齢者人口	11,455人
高齢者率	36.32%
独居世帯数	3,236世帯
独居世帯率	19.81%

問 独居世帯の現状は。
答 独居世帯数は3,236世帯と増加。総務課と連携し、自治会未加入者も含め、見守り体制等を強化していく。
観 独居世帯の自治会未加入状況の把握、緊急通報システムの普及、見守り体制の強化等について総務課と連携し、取り組むべきだ。

澤田 巖 議員

手話講習会委託料
予算額 24万円



問 毛呂山町手話言語条例が制定され8年が経過、手話を言語とする周知強化は。
答 差別のない社会づくり実現のために周知していく。
問 オペレータを介し音声電話が可能になった【手話リンク】、その周知方法は。
答 広報紙等により周知し、利用者増をはかっていく。

小峰 明雄 議員

小中学校入学準備補助事業
予算額 1,358万円



問 小・中学校の新1年生に小学校2万円・中学校5万円の補助金の算出根拠は。
答 もろっ子はぐくみ応援金の廃止に伴い、小学校は、同額の2万円で、新たに、中学校の入学準備に制服代を基準とした保護者等の経済的負担を軽減する目的で5万円とした。

下田 泰章 議員

総人件費
予算額 18億2,258万円



問 令和8年度の新採用職員数は。
答 11名を採用する。
問 新年度、定員管理計画の職員数を満たしているのか。
答 8名の欠員がある。7月1日付け中途採用を実施する。

岡野 勉 議員

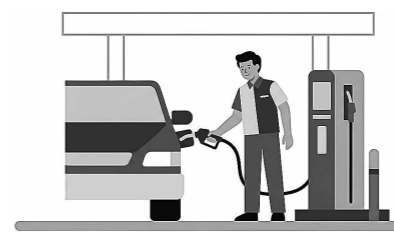
川角駅周辺整備事業
予算額 2億7,027万円



問 川角駅周辺地区整備協議会と結果報告書を把握しているか。
答 7回開かれ、報告書を頂いたことを把握している。
問 安全ですばらしい開発のために、南口だけでなく北口の整備も行うことを確認しているか。
答 北口も検討していく。

佐島 啓晋 議員

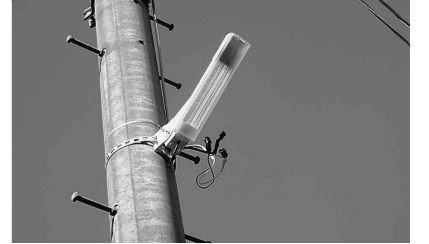
自動車燃料費補助金
予算額 290万円



問 前年の40万円から250万円ほど増額している理由は。
答 18歳以下という年齢制限を廃止し利用しやすくなった。
問 福祉タクシー補助金は減額されているが、利用率は。
答 対象者約580人で利用者約300人、利用率約53%。
観 両制度ともより利用しやすいものとして欲しい。

千葉三津子 議員

防犯灯設置工事
予算額 100万円



問 設置場所と台数は。
答 大類グラウンド、平山、箕和田他、台数は10台を予定している。
問 当町に入ると暗いとの話を耳にする。特に川角駅北口は乗降者が多いのに暗い。防犯灯の設置の要望があるが考えを伺う。
答 順次対応をして参りたい。

中村 奨平 議員

ねたきり老人手当
予算額 198万円



問 令和4年度のねたきり老人手当予算は90万円、介護手当は180万円であった。僅か数年で倍。施設に入れない方が増えているのか。
答 本人や家族の意向。
観 今後も増加し続けることが予想され、一般財源ではなく、介護保険の制度に移行することも検討すべき。

3月議会ではこんなことが決まりました

【令和8年度 国民健康保険税率の改正内容】

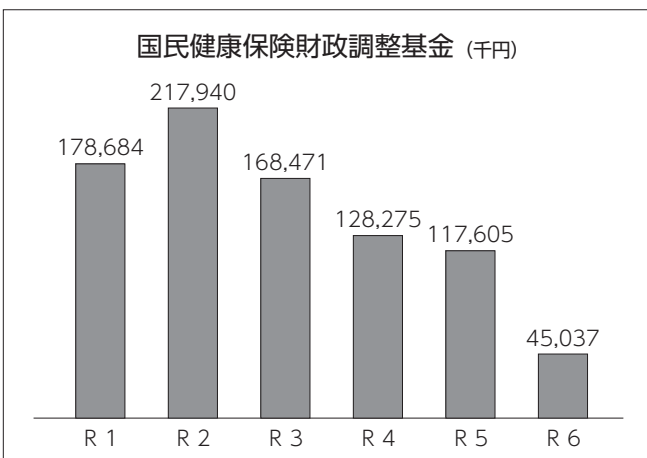
年度	区分	医療分	支援金分 ^{※1}	介護分	子ども分	合計
7年度	所得割	6.9%	2.71%	2.26%	—	11.87%
	均等割	42,300円	16,300円	16,200円	—	74,800円
8年度	所得割	7.82%	2.75%	2.43%	0.3%	13.3%
	均等割 (18歳以上 ^{※2})	47,514円 (—)	16,583円 (—)	17,262円 (—)	1,820円 (111円)	83,179円 (111円)

※1 後期高齢者支援金分

※2 18歳未満の均等割総額を、18歳以上毛呂山町国保被保険者で負担します

モデルケース	軽減判定	医療分	支援金分	介護分	子ども分	合計	備考
1 (単身世帯) ・世帯主45歳 所得139万円 (給与210万円)	—	122,500円	42,900円	40,500円	4,800円	210,700円	
2 (4人世帯) ・世帯主45歳 所得139万円 (給与210万円) ・配偶者42歳・・・所得なし ・子10歳、8歳・・・それぞれ所得なし	5割	170,100円	59,500円	40,500円	4,800円	274,900円	子ども分の均等割について、18歳未満は全額軽減される。
3 (高齢者2人世帯) ・世帯主70歳 所得100万円 (年金210万円) ・配偶者70歳・・・所得なし	5割	92,000円	32,200円	0円	3,600円	127,800円	

同じ収入でも年齢や世帯構成で保険料が大きく異なる



貯金 (基金) も底をつきかけている

埼玉県が策定した「第3期埼玉県国民健康保険運営方針」に基づき、保険税水準の準統一に向けて、計画的に見直しを実施しています。併せて令和8年度より「子ども・子育て支援制度」が創設されることに伴い、国民健康保険税率の改正を行います。

令和8年度国民健康保険税 更に引き上げ

主な質疑

- Q** 現役世代からばかり徴収すれば国保逃れが加速するのでは。
- A** この制度のままでは大変な事態が起きると危惧。
- Q** 所得100万円以下の世帯の割合は。
- A** 国保加入者の約60%。
- Q** なぜ一般会計からの法定外繰入がなくなったのか。
- A** 県の運営方針により、令和8年度中にゼロにする計画のため。

討論 国民健康保険税改正に

反対します

岡野 勉 議員

国民皆保険の根幹である国民健康保険。今回の値上げは、前触れもなく突然である。引き上げ幅も標準世帯で11%、年間5万9000円と大幅なものだ。現在の物価高騰の中でまず行うべき自治体の責務は、被保険者の生活を守ることにある。また、本町の「国保」を将来に安定的な制度とするため国、町の公的負担を増やすべきだ。

中村 要平 議員

国保は実質的に破綻している。超高齢社会が進行し、国保加入者の大半は高齢者であり、財政は厳しく、現役世代からも多額の仕送りを受けている。それにも関わらず今回も改正による値上げの影響が大きいのは収入がある現役世帯だ。年金受給者や弱者では制度がもたない。応益負担増や世代間内負担など改革すべきだ。

討論の詳細はこちら



**子ども誰でも通園制度
スタート**

令和8年4月からの制度開始にあたり、基準を定めるための新規条例が可決されました。

Q

子ども誰でも通園制度について、今回は公立のみということだが、今後、私立での受け入れは考えられるのか。

A

令和9年度以降の実施については見込みがあるものと認識している。

Q

旭台保育園で9人、ゆずの里保育園では4人の受け入れが可能となっているがそれ以上の希望があった場合は。

A

一時預かりのリフレッシュ枠活用について、利用枠を1名増やしているのので、こちらの案内を検討している。

Q

利用料金は1時間いくらか。

A

1時間300円で利用できる。



**職員の人事評価
賞与への反映**

条例改正により、人事評価の結果が翌年度の賞与に反映されます。

Q

評価にあたり職員の目標設定はどうするのか。

A

総合振興計画に沿ったものや各課ごとの重要事項を課内で共有しながら定める。

Q

評価に不満のある職員は、不服申立ての制度がある。

A

**討論
私は賛成します**

堀江 快治 議員

人事評価制度により職員同士で競い合うことは大切なことである。特に、課長職については評価基準等の見識を深めると同時に、評価制度の研鑽をして頂きたい。この人事評価が行政運営に役に立つことを強く希望して賛成する。

討論の詳細はこちら



**しっかり磨いて
健康な歯を！**

町民の健康増進を目的に、歯科口腔保健を推進するための新規条例が可決されました。

Q

条例を策定するにあたって、歯科医師会とはどのような協議をしたのか。

A

歯科医師会からも、この口腔保健推進条例を何とか形にしてほしいというお話をいただいている。

Q

条例施行前の啓発活動はどのように行う予定か。

A

ホームページや町の公式LINE、町の広報誌などを通じて周知していく。さらに、歯科保健に関する事業以外の特定健診や、各種健診、健康教室など、その他の事業も交えて、周知を図ってまいる。



県道が町道に移管

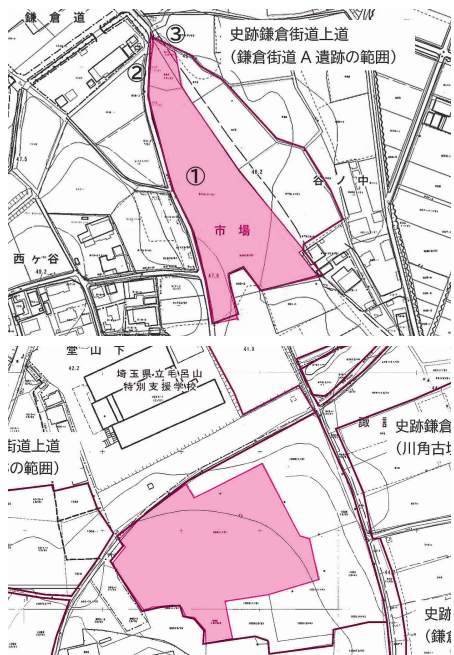
県道飯能寄居バイパス開通に伴い、現在の県道の一部が町道に移管されます。



場所は国際医療センター分岐から鎌北湖入口までと、毛呂本郷郵便局から越生町との境まで

鎌倉街道を保存

国指定史跡鎌倉街道上道の指定地の一部を町が取得します。



対象26名 総額 1億6,183万円

臨時会開催 泉野小学校が廃校へ

毛呂山小学校に統合し、令和11年4月に開校!!

主な質疑

Q 財政状況はどうかの。

A 財政状況が厳しいのは間違いない。幅広い行政サービスを持続していく必要がある。そうした中で今後学校編成に関する予算は慎重に教育委員会と協議をしていく。先に行けば行くほど物価上昇はあると考える。そのようなくとも踏まえできるだけ早く進めていきたい。子供たちの教育環境をとにかく良くしたい進めたい。

Q 臨時議会で設置条例の改正を急ぐ理由は。

A 予算計上して事業を進めるにあたり、先に学校設置条例の改正を上程すべきと指摘を受けた。これにより本臨時会での条例改正をするため12月議会や過日の全員協議会において議員各位に説明をしている。

Q 令和11年度の開校を目指し、まずは毛呂山中学校区の設置条例を改正させていただきたい。

A 泉野小学校の跡地利用の検討は、これまで検討委員会での検討内容や集約後の施設規模、集約時期を踏まえ活用について検討を深めていく。

Q 毛呂山の小中学校の学力を上げるにはどうするか。

A 学力の向上については本町の最も重要な課題ととらえている。今後も丁寧に対応していく。

Q 統廃合した場合の通学区の見直しは。

A 毛呂山町立小・中学校将来構想検討委員会の提言を基に編成計画を策定した。計画では毛呂山小学校と泉野小学校の統合による学区編成、川角小学校と光山小学校の統合による学区編成となる。

Q 通学距離が一定距離を超える児童についてはスクールバスでの登下校となる予定。現在のところ小学校の学区編成は予定していない。

討論 私は賛成します

佐藤 秀樹 議員

小中一貫教育は今後の町の財政を考えると進めるべきであるが、統廃合に関する工事費用30億円の中の毛呂山小学校改修工事費12億5631万円は財源を確保していく政策も示されていない中で納得はできない。今後の財政状況を見直し、工事金額を提示して頂ける事を求め賛成討論と致します。

討論 私は反対します

岡野 勉 議員

住民説明、合意もない中で泉野小学校が廃校の提案。保護者、住民はこの議案を見ていない。令和6年3月の「学校編成計画」では毛呂山小学校大規模改修6億2067万円、現在は12億5631万円だ。状況は変わった。川角中学校区増築校舎含めると何と30億7741万円だ。この工事、町民に説明なく決定はもろろんだメだ。

小野 浩 議員

私は今回の学校設置条例の改定案に反対します。理由は、ここで毛呂山中学校区の一つの小学校である泉野小学校を廃校にするその時期が、要するに住民の合意を得ていないというふうを感じるわけです。ですから、今回、これはしばらく置いておく。今、ここで決めるべきではない。住民周知が全然徹底していないからです。

討論の詳細はこちら



●議案の審議結果（2月臨時会）

○は賛成 ×は反対 討は討論 議は議長

議案	議員名	中村 聖平	佐島 啓晋	小野 浩	下田 泰章	澤田 巖	佐藤 秀樹	荒木 かおる	千葉 三津子	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	平野 隆	審議結果
専決処分	一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
一部改正	町立学校設置条例	○	○	×討	○	○	○討	○	○	×討	○	○	×	○	議	原案可決

毛呂山町政治倫理審査会が開催されました

詳細はこちら



審査請求代表者
審査請求の対象となる議員

小野 浩 議員
高橋達夫 議員

審査会設置の概要

審査対象議員の2親等以内の親族が経営者である議員関係企業が、令和5年度から令和7年度にかけて町が発注する業務を受注した事実がある。このことから、審査対象議員は、毛呂山町議会議員政治倫理条例（以下「本条例」という。）に反する行為があるとの理由により、審査請求者から審査請求書が提出された。これにより、政治倫理審査会を設置し審査した。

審査会の結果

本条例では、議員関係企業は関係する議員を通じて議員の任期開始の日から30日以内に議長に辞退届を提出することと規定している。また、議員は町民に疑惑の念を生じさせることのないよう、責任を持って関係する議員関係企業に辞退届を提出させる努力を尽くさなければならないと規定している。議員関係企業は、令和5年以降も町等から請負契約の受注をしており、審査対象議員は、任期開始の日である令和5年4月26日から30日以内に辞退届を提出させる努力をしなかったことは、本条例に違反している。

また、本条例では、職務に関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないことと規定している。審査対象議員が議員関係企業に対して令和5年以前の本条例施行時から引き続き一度も辞退届の提出を促していないことは、職務に関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為であり、本条例に違反する。

よって、審査対象議員が議員関係企業に対し辞退届の提出を促さなかったことは、本条例に反しており、不当である。

審査対象議員の弁明

令和5年に地方自治法の一部が改正され、それに伴い議員関係企業は個人、法人問わず年間300万円を超えない限り、町との請負が可能となるよう本条例を改正した。

よって令和5年から令和7年にかけて町が発注した業務はいずれも年間300万円以内であり条例違反には当たらない。また、辞退届を提出させなかった事が、条例違反というが条例も改正されており、企業には営業の自由があり、親族と言えども関われない。正当な入札で受注したものであり、町の義務である「最小な経費で最大の効果」をもたらす結果となっている。審査会の結果は改正された条例を全く理解しておらず不当である。

一般質問

町政を問う! ~12名が登壇~

- 教育・子育て環境の充実
- 行財政運営
- エピテーゼ
- 自然環境の保全

小峰 明雄

- 町の税収と財政運営
- 川角駅周辺地区整備事業
- 今後の目白台地区
- 学校統合問題

堀江 快治

- シティプロモーション
- 女性の視点を活かした防災・減災対策

荒木かおる

- 西入間警察署川角駐在所付近の時差式信号の設置
- 学童保育の現状と卒園した保育園・幼稚園の活用

佐島 啓晋

- 町民のための移動支援
- 不登校・いじめ問題
- 高齢者の交通安全対策

千葉三津子

- 行財政改革プランの狙いと「町の力」の創出について

長瀬 衛

- 町内循環バスの利便性向上と定住促進について
- 災害用トイレトラックの平時活用について
- 健幸施策を次のステージへ

下田 泰章

- 学校教育環境
- 毛呂山町財政計画
- 高齢者対策

佐藤 秀樹

- 超高齢社会における町・財政運営

中村 奨平

- 令和8年度予算について

高橋 達夫

- 8050問題対策

澤田 巖

- 学校統廃合
- 鎌倉街道

岡野 勉

※一般質問の本文は、主な質問と答弁を議員本人が編集しています。文字数の関係上、簡略化しています。詳細はYouTubeへ。



中学校吹奏楽部の高額楽器の購入は

各学校在が、計画的に購入する



小峰 明雄

問 通告質問が、1000問目。一般質問後、中学校吹奏楽部の楽器の寄附等への取り組みは。

答 4件の寄附があり、学校長と高額予算は、協議し対応する。

問 連続122回目的一般質問。

答 小・中学校費の予算執行の所見。今後の教育、教育長の見解は。

問 人づくりが、課題と捉える。個に応じた指導・わかる授業を行い学習内容の定着につなげる。

問 新規事業の小学生ステップアップ教室への取り組みは。

答 成績の伸びを実感している。週3日の開催が、負担となっている。来年度は週2日を計画。

問 戦没者追悼式へ児童生徒の参列を通した平和への理解は。

答 参列することで、平和への理解が、より深まると考える。

問 夏季休業期間の学童保育所入所への取り組みは。

答 26人利用。利用者全員から来年度も利用したいと回答。

問 新規事業の産前産後ヘルプ事業の取り組みは。

答 現在5家庭が利用。事業の周知が、まだ不十分である。

問 行財政改革プラン2020は今年度末で終了、評価検証は。

答 概ね目標数値を達成したが、評価と改善に更なる強化が必要。

問 町税収納向上計画ソリユーションプランIVは今年度末で終了、評価検証は。

答 それぞれの目標値に、届いていない状況。

問 人工装具のエπιテーゼ購入費の一部補助は。

答 前向きに取り組む。

問 越生町ではクビアカツヤカミキリ被害の対策本部を設置。滝ノ入ロースガーデンのバラや桜の木等もあるので、統一窓口での害虫の被害対策を。

答 一本化できるように、指導していく。

問 町税収納向上計画ソリユーションプランIVは今年度末で終了、評価検証は。

答 それぞれの目標値に、届いていない状況。

問 人工装具のエπιテーゼ購入費の一部補助は。

答 前向きに取り組む。

問 越生町ではクビアカツヤカミキリ被害の対策本部を設置。滝ノ入ロースガーデンのバラや桜の木等もあるので、統一窓口での害虫の被害対策を。

答 一本化できるように、指導していく。

問 メイン通り等の植栽管理が遅れている状況。

答 学校統合問題

問 川角中学校区は再検討になっている。結果的に約3千万円の基本設計はあの段階で必要だったのか。



厳しい財政運営の判断が求められている町行政！



高額な楽器は、計画に基づいた購入を切望する



人口減少の中、今後の町の財政運営は！

責任ある財政運営の方針を掲げている



堀江 快治

問 近年、人口や税収など東京都への一極集中化が問題視されている。潤沢な資金がある自治体との格差是正の議論が必要だが、今後本町の財政運営には極

問 近年、人口や税収など東京都への一極集中化が問題視されている。潤沢な資金がある自治体との格差是正の議論が必要だが、今後本町の財政運営には極

問 重要な判断が求められていると思うが町の見解を伺う。

答 今後も非常に厳しい財政運営を想定している。持続可能な行財政運営を目指すために、身の丈に合った財政運営を心がける所存。

問 昨年度の町の人口動態は。

答 出生数95人、死亡数535人、転入者数1453人、転出者数1354人となっている。

自然増減と社会増減の合計では341人の減少。

問 川角駅周辺地区整備事業

問 川角駅南側の用途が付いた中で、今後の川角駅北側の整備計画について伺う。

答 南口の整備効果を踏まえて検討していく。

問 都市機能誘導区域である目白台地区への対策について伺う。

答 引き続き商業施設等の誘導を目指す。

問 草木の繁茂や街路樹の手入れが出来ていない現状について町の認識を伺う。

答 概算事業費を算出するために実施したものである。住民の貴重な税金は決して無駄にしてはならない。概算事業費の算出は概略設計でよかつたのではないか。

問 新築校舎やグラウンド拡張もあるため基本設計が必要と判断した。

答 新築校舎やグラウンド拡張もあるため基本設計が必要と判断した。

問 川角中学校区は再検討になっている。結果的に約3千万円の基本設計はあの段階で必要だったのか。

答 概算事業費を算出するために実施したものである。住民の貴重な税金は決して無駄にしてはならない。概算事業費の算出は概略設計でよかつたのではないか。

問 新築校舎やグラウンド拡張もあるため基本設計が必要と判断した。

答 新築校舎やグラウンド拡張もあるため基本設計が必要と判断した。



若い世代に町の魅力発信を！

答 町内外の方に町の魅力や強みを広く伝える



荒木かおる

問 少子高齢化による人口減少課題の上で、若い世代への情報発信は今後益々重要。町では令和8年度、電車内で町のPR動画を放映する事業を予定しているが、PR動画が流れる時期や期間、放映時間について伺う。

答 現時点の予定は、放映期間は1週間。開始時期は年内を想定しており、放映時間は15秒で始発から終電まで9分に一回という頻度で繰り返し流れる。

問 予算をかける以上、毛呂山町に興味を持って頂ける動画の内容が一番重要。そうでなければ結局は、動画を見ただけ、流しただけになってしまふ。PR動画はどのような形態で作るか。

答 委託形式で作成し、役場職員や委託業者を交えての作成チームを組んで進める。



「住みたい町」へ魅力発信を！



信号機を時差式にできないか！

答 引き続き警察と協議を重ねる



佐島 啓晋

問 川角駐在所付近の信号を時差式にすることで、渋滞の緩和に繋がるという意見を聞く。町の対応について伺う。

店に伴い、信号サイクルの調整や県道右折レーンの延伸といった渋滞対策を開発事業者や西入間警察署などの関係機関と協議した。土曜日、日曜日のお昼前後に、越生方面から坂戸方面に向かう右折レーンにおいて混雑が発生している状況は認識している。時差式信号の設置について西入間警察署に確認したところ、越生方面の混雑が解消され

ても、対向する坂戸方面からの車線での新たな渋滞が発生する恐れがあるので、慎重な検討が必要。今後も周辺の交通状況の把握に努めるとともに、時差式信号機の導入などの混雑解消策について、引き続き警察と協議を重ねている。

問 川角地区小中一貫校の説明の中で、新しい校舎に学童保育の建設が予定されている。保護者の働き方の変化等によって子どもの放課後の過ごし方が変化・多様化する中で、事業の民間委託が普及するなど学童保育事業の運営方法・運営内容も一層



時差式信号で渋滞緩和を！



移動手段！もろバスだけでは不可能！

答 持続可能な移動支援の在り方の検討を進めていく



千葉三津子

町では「もろバス」を3台から5台に増車し、利用者の利便性向上のため改善を図っている。見直し前のアンケート調査の満足度の比較は如何か。

問 利用者の6割以上が満足と回答した。運行見直し内容に対して、一定の評価をしている。

答 「普通」や「不満」と回答した方が、どのような理由で「満足」とならなかったのか伺う。

問 運行頻度や本数に対する不満や、デマンドの観点を踏まえた運行ダイヤやドライバーに対する不満や日曜祝日にも運行してほしいとの理由があげられ、

今後更なる利便性向上に努める。財源には限りがあると思う。なるべく多くの方の移動ニーズに対応するために、今後どのようなことを検討するのか伺う。

問 デマンド型乗合交通の検討を含め、更なる利便性の向上のため検討していく。新たな移動手段の創出に向けた検討のスピードを上げていく必要がある。

問 近年インターネット上には悪質ないじめ動画が拡散している、見るに堪えないものもある。いじめは絶対許さないと強い意思表示が必要だ。教育委員会の今後の不登校・いじめ問題

についての認識と対応方針について伺う。

問 早期発見・早期対応に役立てるための新規事業を予定。新たな視点から問題解消・改善に努める。

問 県では、高齢者の交通事故が多発している中、きらめきトリプルエイチ運動「早めのライト・反射材着用・歩行者保護」を実施しているが、町としての高齢者の交通安全対策を伺う。

問 「毛呂山町交通安全母の会」が中心となり、交通安全運動に努めている。



ふるさと納税の運営に課題あり

答 創成舎と連携協力し取り組む



長瀬 衛

2025年度版埼玉県ふるさと納税額ランキングにおいて毛呂山町は県下63市町村中42位〔3527万円〕で小鹿野町など多くの町が本町を上回っている。

問 ふるさと納税額の1/2は経費として消え、さらに、窓口となっている創成舎（町づくり会社）への派遣職員の人件費や寄附金控除による税額分の歳入減、さらに創成舎への補助金を差し引くと残らない。町の活性化のために貢献できているのか。

答 一方、名目上は、全額が基金として積立て道路整備等に活用したことになる。また、

令和2年の創成舎設立時のスケジュールでは令和4年度の寄附金目標額を1億円とし、収益を先端産業育成などに活用するとしていた。大きな課題であり、対応を検討する時期ではないか。

問 創成舎と連携協力し、寄附額増による財源確保や町と事業者が連携し、町内商工業の振興への取組を進めたい。

問 人口減少や若者世代の転出超過など「町の力の創出」という面では、大変心配な現状である。町づくりは、行政と町民の融合が基本と考えるが、町長は、裁量権を振りかざし、町民への

丁寧な説明や説得によって合意形成を図るといふ基本的な手続きを軽視している。それらが要因となり、議会との連携や町民との関係など負のスパイラルとして町づくりが停滞している原因になっているのではないかと懸念している。川角駅周辺整備事業では、いろいろと住民合意の点で至らなかつたと反省している。これからも職員や議会の意見を聞きながら進めていきたい。

寄付額	令和7年度ふるさと納税	4,347万円
支出	ふるさと納税関係経費	2,100万円
	町民が他自治体へ寄付したことによる減税分	1,335万円
	創成舎へ派遣職員人件費	935万円
	創成舎への補助金	333万円
	GCF活用補助金〈創成舎・私立学校〉	247万円
	計	4,950万円
寄付額－支出		△ 603万円

もろやま創成舎とふるさと納税の課題



町民の移動手段！更なる利便性向上を目指して



越生線終電後の移動手段確保で定住促進を

答 前向きに検討する



下田 泰章

問 公共交通の不便さが転出要因となっている現状をどう認識しているか。

答 住民意向調査では「転出したい」理由の最多が「電車やバス」

スの便が悪く通勤・通学に不便」であり、公共交通の不便さは転出要因の一つと認識している。

問 東武東上線と東武越生線の終電時刻のずれにより、通勤・通学の不便さが指摘されている。若い世代の定住にも関わる課題として、もろバスを東上線終電に接続するデマンド型運行を検討してはどうか。

答 終電接続の課題は通勤・通

学者にとって切実な問題と認識している。終電延長を鉄道事業者に要望しているが、デマンド型運行も含め終電後の移動手段確保について検討していく。

トイレトラックの平時活用

問 自治会のイベントでは仮設トイレ設置費用が大きな負担となっている。町が配備した災害用トイレトラックを自治会行事など公益性の高い活動に限定して一定の条件のもとで貸し出す仕組みを検討する考えはあるか。

答 貸出しについては、運転者が役場職員に限定されている保険の条件や準中型免許が必要で

あること、車両の取り回しや汚物処理、災害時に即出動できる状態の維持などの課題がある。今後、課題を整理しつつ慎重に平時活用の可能性を検討する。

健幸施策を次のステージへ

問 若い世代の生活習慣病予防から人生の最終段階の人生会議（ACP）まで、生涯を通じた健康政策を強化し「毛呂山版健幸モデル」を構築する考えは。

答 データの活用や人生会議の普及を進め組織横断的に取り組んでいく。



統廃合より先に学校教育環境が大事！

答 各学校長と協議し、対応につなぐ



佐藤 秀樹

問 学校教育環境のうち、予算について、部活動は社会で生きる為の生徒の心と身体を成長させる上で学問同様に重要な学びの場である。昨今部活動の備品

で高額な物は予算が取りづらいと聞く。学校の環境を整備する為に統廃合を手段の一つとして考えているのであればその前に次年度から子ども達の要望、願いを叶えて頂きたいが如何か。

答 学校からの意見聴取や備品消耗品等の状況を確認しながら児童生徒の教育環境の整備を進めて参る。

毛呂山町財政計画

問 学校再編計画で30億円を超える工事費、苦林浄水場の施設更新工事が20億円以上かかる説明を受け、更に社会保障費等、今後莫大な費用がかかると予想される中、企画財政課はどの様に捉えているのか。

答 第一に小中学校の再編に関する事業、川中南側交差点や第四団地などの雨水排水対策、公

共施設の長寿命化費用など、ハード事業だけでも相当な予算が必要とされていると考えている。

問 財政破綻にならない為にどうすれば良いと考えているのか。

答 長年実施してきた事業を引

き続き実施する必要があるのか。行政サービスを維持する財源を捻出できるのかという事を考えていく必要があると思う。

高齢者対策

問 高齢者が自分らしく在宅生活を送るように、いす式階段昇降機というものがある。医療福祉の町であるならば助成制度を設けるべきと思うが如何か。

答 基本的に高齢者と障害者に分けての対象となる。他の自治体の取組等を調査研究して参る。



課題が残っている中進められる改修工事



終電のあと、帰る手段はありますか？



施設更新は次世代に先送りばかり、おかしのでは

答 持続可能な行財政運営を行う



中村 奨平

問 苦林浄水場は築55年が経過しているにも関わらず、適切な水道料金を徴収していなかったために、更新費用が全く積み立てられていない。また水道管

答 の更新率も令和5年度で僅か0・8%。今後の急激な人口減少により人口密度も低下していく。残念ながら、水道管布設規模は人口減少に比例せず、今後少ない人口で大規模な上水道を維持しなければならぬ。人口が3万人と多いうちに水道料金の早期料金改定を行い、更新費用にあてるべきでは。

いることなく、必要な更新費用を確保できるよう、慎重に検討。**問** 「町に潤沢な予算があれば、未来を担う子どもたちのために新築校舎を整備すべきであるが、少子高齢化で財政が厳しいため既存小学校を全体改修ではなく必要な部分だけ補修すべき」という意見があったが、そうであれば行うべきはまず高齢者自身が財政面で規律のある負担をすべきでないか。仮に小学校建設や改修費を必要以上に削減する場合は、扶助費等の高齢者支援施策削減はセットでなければ現役世代や子どもへ説明がつかない

と考えるが、町の考えは。**答** 行政サービスは幅広い年代に対して行われるものであるが、次代を担う子ども達への教育環境の整備・充実が当然重要視される。**問** 多くの施設が老朽化する中、物価上昇を理由に先送りばかりでは将来にツケを回しているだけである。将来世代の為に私は声を上げる。行政も決断を。**答** 政策判断であり、自治体運営の本質。しっかりと議論しなければならない。



令和8年度予算における主な事業は川角学園口の駅前広場とアクセス道路整備である



高橋 達夫

問 令和8年度の予算規模は。 **答** 予算規模は総額120億3千万円で過去最大の予算である。 **問** 少子化対策と未来を担う子供育成に関する主な予算は。

答 小中学校入学準備補助事業として1358万2千円、中学校給食費無償化事業として1億333万5千円、保育所等給食費無償化事業として2548万6千円、第2子以降保育料無償化事業として2706万9千円、小学生のタブレット更新事業6956万5千円、中学生海外留学事業として865万3千円等である。

問 高齢者対策の予算はどうか。 **答** 難聴により生活に困難を抱える高齢者に補聴器購入費補助事業、認知症早期発見・早期対応のために脳の健康セルフチェック事業、医療や介護の充実のために後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計繰出なども増額している。 **問** 小中一貫校の関連予算は。 **答** 毛呂山小学校大規模改修工事の実設計予算として4千477万円等である。 **問** 普通建設事業ではどんなものがあるか。 **答** 川角駅周辺地区整備事業と

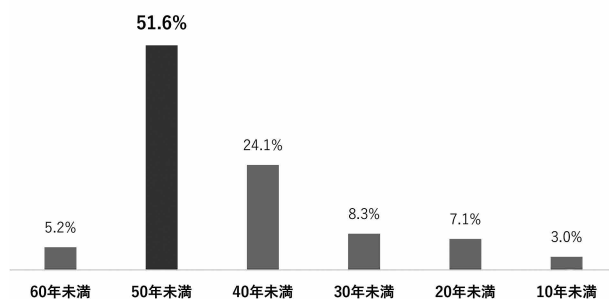
して2億7027万3千円 東武越生線第55号踏切拡張改良工事として2億5371万円、旭台地区雨水排水対策事業として7491万円、第四団地雨水排水対策事業として590万円等である。 **問** 物価高騰対策に関する予算は。 **答** 水道基本料金免除期間の2か月延長、農業経営継続支援事業として330万4千円、中小企業・小規模事業者賃上支援事業として1678万5千円である。



令和8年度完成予定の川角学園口駅前広場とアクセス道路

毛呂山町 公共施設の建築年数（延床面積）

※2019年時点



築50年の小学校は危険な状況と指摘されている

8050問題は深刻化の一途

答 役場内外の関係機関の連携が重要



澤田 巖

問 親が80歳代、子供が50歳代のひきこもりを抱える家庭が多数あり全国的な問題となっている。本町における相談件数は、令和6年は21件、令和7年

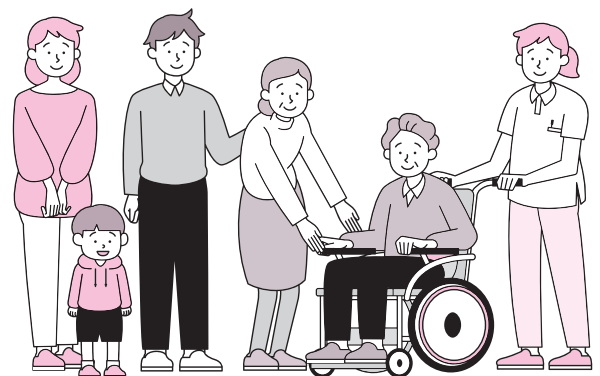
答 地域の民生委員に対しては同じ地区に住む側面があり該当家族は隠したがる傾向にあるが、地域包括センターを始め介護保険事業者等は自宅内に入る機会が多いため情報を得やすい。こ

問 は12件の窓口相談があった。
答 8050問題は表面化しにくく潜在化しやすい。民生委員や地域包括センター等の連携による早期発見体制はどうか。

問 50歳代の就労支援や社会参加の具体例は過去にあるのか。
答 父親が亡くなり生活困窮相談があり無職の子は生活保護申請、受給後に就労支援を行い近いうちに経済的自立に向かうように段階的に支援する。

問 一番の懸念事項は親亡き後の対策だ。生活保障や住まいの確保についての対策は。
答 親亡き後の生活保障には資産状況や住環境により個人差が

問 出る。ひきこもり当事者の個人的要因に対する支援は本人の意思を中心に疾病の有無、就労の環境等を総合的に判断していく。生活保障は就労可能な場合は一時就労か福祉的就労。就労支援はどうするのか、障害がある場合、障害年金が受給可能か、生活保護受給の必要性など複数の選択肢から当事者の状況に応じた対応策を検討する。関係機関の連携が重要。



悩める世帯に公的な支援の輪を

学校編成は町全体を見て、平等な教育環境を！



答 毛呂山中学校区を先行実施する



岡野 勉

問 2月16日の臨時議会の結果を見ない中での質問通告だが「学校編成」の全体像が決まらない中での毛呂山中学校区（泉野小との統合）先行実施は、平

答 等な教育環境整備面からも問題だがどうか。
問 物価高騰は現在も続いており、学校施設の改修時期が遅れることで改修工費が膨らみ、財政負担が大きくなることが想定される。
答 このような状況を踏まえ、2月臨時議会において、毛呂山中学校区については編成計画に基づいて毛呂山町立学校設置条例

問 川角中学校区の施設一体型をこのまま進めることは、保護者の意向を確認したのか。まずは一旦「学校編成」計画は撤回し、意見が二分していることを十分に尊重すべきである。
答 令和6年10月に実施した編成計画に関するアンケートではすべてが反対の意見ではなく、多数肯定的な意見も頂いており編成計画を推進している。

問 鎌倉街道の国指定を受けてからの成果と課題は。
答 主な取り組みとしては、指定記念特別展やシンポジウム、鎌倉街道健康ウォークを開催した他、学校教育と連携し町内全ての小学校で社会科等で取り上げた。
問 郷土ゆかりの人物、毛呂季光の評価は。
答 源頼朝の最側近として鎌倉幕府成立に尽力、鎌倉の大火には「いざ鎌倉」を体現、吾妻鏡で謳っている。小学6年生で鎌倉幕府、街道に関連し学んでいる。



泉野小廃校の先行実施、撤回を！

●議案の審議結果（3月定例会）

○は賛成 ×は反対 討は討論 欠は欠席 議は議長

議案		議員名	中村 稔平	佐島 啓晋	小野 浩	下田 泰章	澤田 蔵	佐藤 秀樹	荒木 かつお	千葉 津子	岡野 勉	小峰 明雄	高橋 達夫	長瀬 衛	堀江 快治	平野 隆	審議結果		
当初予算	一般会計		○討	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	議	原案可決		
	国民健康保険特別会計		○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	原案可決		
	後期高齢者医療特別会計		○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議	原案可決		
	水道事業会計、農業集落排水事業会計、介護保険特別会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決		
新規条例	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例、歯科口腔保健の推進に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決		
一部改正	アナログ規制の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例、子ども・子育て会議条例、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例		○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	職員の給与に関する条例		○	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
	国民健康保険税条例		×	討	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	議	原案可決	
	土地の埋立て等の規制に関する条例		○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	議	原案可決	
補正予算	一般会計（第8号）、国民健康保険特別会計（第4号）、水道事業会計（第3号）、介護保険特別会計（第3号）、後期高齢者医療特別会計（第2号）		○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
財産取得	国指定史跡鎌倉街道上道の指定地		○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決	
人事	副町長の選任		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議	同意	
諮問	人権擁護委員候補者の推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	答申適任
町道の路線の認定			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
発委※1	条例改正	議会委員会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	規則改正	議会会議規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
発議※2	条例改正	議会議員政治倫理条例	議会運営委員会へ付託													閉会中の継続審査			

※1 委員会が提出した議案 ※2 議員が提出した議案

表彰

人事

西入間広域消防組合議員表彰
(在職10年以上)

副町長(再任)

小峰 明雄 議員
岡野 勉 議員
佐藤 秀樹 議員

関本 建二氏

川越市砂久保
昭和37年1月生

人権擁護委員(再任)

有山 道春氏

毛呂山町大字葛貫
昭和29年2月生

傍聴席

2月臨時会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
2月16日(月)	5名
合計	5名

3月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
3月 2日(月)	0名
3月 3日(火)	12名
3月 4日(水)	29名
3月 5日(木)	4名
3月 6日(金)	0名
3月19日(木)	5名
合計	50名

あとかき

2026年アメリカによるベネズエラ・イランへの軍事攻撃が始まり、日本を取り巻く環境は再び緊張感が走り、直後に輸入大国である我々の経済に対し、物価高騰など、生活に大きく影響を及ぼすものとなりました。外交をはじめ、あらゆる対策を以って戦争に巻き込まれないよう、国政に期待するところでもあります。そのような中、毛呂山町においても先の3月議会において令和8年度の当初予算が確定致しました。少子高齢化に拍車がかかる中、今後の毛呂山町の将来はどのように進んでいくのか、これから進める町政に対し、今何が必要なのか、この判断に大きな影響がこれから先の町政運営に大きく影響してくるのは当然であります。時には大きな決断も今後は必要となります。

今後も正しい議論を重ねていき、二元代表制の一役を担っていきたく思います。

佐藤 秀樹

編集委員

委員長 下田 泰章
副委員長 中村 稔平
委員 佐島 啓晋
小野 浩
佐藤 秀樹
荒木 かつお

アドバイザー

(議長) 平野 隆